

患者さんへ

上腸間膜動脈閉塞症に対する当院の治療戦略

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。

このような研究では、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得ることが困難な場合には、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。

なお、研究結果は学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表いたしません。

1 研究の対象	2012年1月～2023年12月に、当院で治療を受けられた上腸間膜動脈閉塞症の方
2 研究目的・方法	<p>上腸間膜動脈閉塞症は、小腸や大腸に血液を供給する「上腸間膜動脈」が詰まってしまふ、予後不良の疾患です。救命に加え、今後の生活の質(quality of life : QOL)も考慮し、いかに腸管を温存するかが治療戦略において重要となります。</p> <p>近年では様々な治療法が導入されており、当院でも腸管温存を目標に、「血栓吸引療法」などの治療を行っています。</p> <p>本研究では、通常診療で得られた臨床情報を用いて、上腸間膜動脈閉塞症の治療内容やその後の転帰などについて検討することで、当院のこれまでの治療戦略の評価を行います。</p> <p>研究の期間:施設院長許可後～2025年3月</p>
3 情報の利用拒否	情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんのご家族等で患者さんの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としません。その場合は、「5. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。
4 研究に用いる情報の種類	<ul style="list-style-type: none">・患者背景(年齢、性別、身長、体重等)・病歴情報(原疾患、合併症等)・画像検査や血液・生化学検査値・治療方法、治療結果、その後の転帰等
5 お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先: 札幌東徳洲会病院・外科、主任部長 萩原 正弘 (研究責任者) 住所:札幌市東区北33条東14丁目3番1号 電話番号:011-722-1110(代表)</p>